

## 令和3年度 トレーニングセミナー実施結果

## 1. 目的

センター調査手法の標準化により、センター調査の質向上を図る。

## 2. ねらい

センター調査の検証における背景の視点を整理して、再発防止策につなげる。

## 3. 日程

令和4年2月12日(土)

13時00分～16時30分(3時間30分) Web (Zoom) 開催

## 4. 出席者

68名(統括支援医6名 調査支援医25名 総合調査委員会5名  
厚生労働省1名 機構職員31名)

## 5. プログラム

司会進行 日本医療安全調査機構 顧問 山口 徹  
兼 医療事故調査・支援事業部長

時間	内容
13:00～13:15 15分	開会挨拶・医療事故調査・支援センターの現状報告 日本医療安全調査機構 常務理事 木村壯介
13:15～13:35 20分	センター調査の現状と課題 総合調査委員会 委員長 宮田 哲郎 国際医療福祉大学 医学部 教授
13:35～14:05 30分	<b>【講義】</b> センター調査報告書における背景と再発防止策 総合調査委員会 副委員長 長尾能雅 名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部 部長・教授
14:05～14:10 5分	休憩
14:10～16:00 110分	<b>【演習】</b> 模擬事例を使用したグループワーク ・事例の確認 ・背景について ・再発防止策について 各グループの発表と解説 総評(まとめ)
16:00～16:20 20分	意見交換・質疑応答
16:20～16:30 10分	閉会挨拶 木村壯介